

平成 30 年 3 月 1 日

## 平成 29 年度学校関係者評価

### 学校関係者よりいただいた主な意見

- 1 学校評価について、次のような点を改善して、より正確な現状分析を行うとともに、課題を明らかにして改善につなげてほしい。
  - (1) 各項目の 4 段階評価は、4 を「できた」、3 を「ややできた」、2 を「あまりできなかった」、1 を「できなかった」のように対称性を持たせると、できたかできなかったかが明確に分析できる。
  - (2) 各項目の 4 段階評価は、その項目の担当部署の教員と、その他の教員の数を分けて分析する。
  - (3) 平均点だけでなく、4 段階評価の分布の状態も考慮して分析する。
  - (4) 成果だけでなく、課題を記入できるようにする。
  - (5) アンケートで生徒の思いを聞き、学校評価の分析に加えると厚みのある評価ができる。
  
- 2 様々な行事に取り組んでいることがよく分かった。募金活動も、生徒会だけでなく一般の生徒にも声をかけるとよい。参加したい生徒は必ずいると思う。
  
- 3 部活動などで遅くなり十分な勉強時間を確保できないこともある。時間の確保も大切だが密度を上げることを指導したらどうか。
  
- 4 学校評価で「主体的・対話的で深い学びに向けて」の評価は高いとはいえないが、卒業生の答辞を聞いていると、先生方が授業を工夫している様子がよくわかった。
  
- 5 保護者にもっと学校の活動を周知していったらよい。ワンクリックで目的の記事が開くようにする等、学校のホームページからもっと簡単にアクセスできるようにしてほしい。